

ブラジル金融政策（2019年9月）

0.5%ポイントの利下げ

2019年9月19日

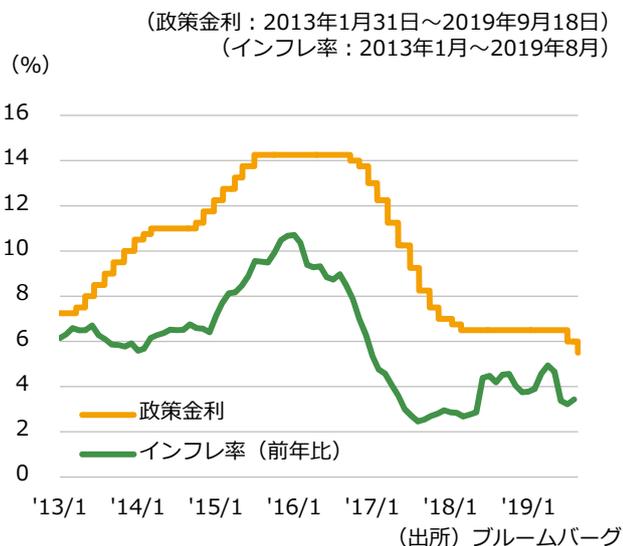
景気刺激のため、2会合連続となる利下げを実施

ブラジル中央銀行は9月18日（現地）、政策金利を6.00%から5.50%に引き下げました。市場予想通りの利下げ幅となりました。前回の会合以降、GDP（国内総生産）など良好な経済指標が発表されており、声明文でも経済は緩やかに回復していると述べられていますが、引き続き景気刺激のための利下げが実施されました。インフレ率がインフレターゲット内に収まっていることや主要国が追加の金融刺激策を実施しており、新興国にとって利下げを実施しやすい環境になっていることも、ブラジル中央銀行による利下げの決定を後押しした模様です。今後の金融政策については経済状況次第としているものの、インフレが落ち着いて推移すれば、さらなる利下げも実施するとブラジル中央銀行は表明しています。

注目の年金改革法案に関しては、上院での可決に向けて審議が進んでいる最中で、同法案の成立は確実視されています。年金改革の進展はブラジル資産への追い風となっていますが、アマゾンでの森林火災や年金改革の次に注目されつつある税制改革で中心的な役割を担っていたマルコス・シントラ連邦歳入担当次官が解任されるなどリスク要因も浮上してきており、これらの動きにも注意が必要です。

外部環境ですが、米国でも同日に0.25%ポイントの利下げが実施されており、世界的に各国の中央銀行が緩和的な政策をとっています。そのため、相対的に金利の高い新興国市場への資金流入が期待され、ブラジル・レアルの上昇を後押しすると考えています。

政策金利とインフレ率の推移



為替の推移



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。